

ふくしきらり人。



よしだ しょうへい
吉田 昌平さん

社会福祉法人正和会 特別養護老人ホーム成華園



「ふくし“きらり人。”」にご登場いただいたのは、日立市にある特別養護老人ホーム成華園で、ご利用者の日常生活の支援やご家族様や関係職種、関係機関との相談窓口を担当している吉田昌平さんです。吉田さんは、福祉の大学を卒業後、他県の特別養護老人ホームに勤務していました。一度は福祉から離れた期間もありましたが、福祉の魅力から離れることが出来ず、成華園に入職しました。福祉に携わり、9年目となる仕事への思いや、これからの目標についてお話をうかがいました。

また人と直接関わる仕事がしたいと思った

成華園は、笑顔で支援を目標に掲げ、ご利用者様が再び笑顔で生活を送ることが出来るようにご支援しています。吉田さんの仕事は生活相談員ですが、

その内容はご利用者様の相談を受け、ご家族様への連絡や関係部署との調整、関係機関との連携、新規入所から退所されるまでの関わり、ご利用者様の受診の対応など幅広く、さらに介護スタッフとしても活躍中です。再び福祉の仕事に就いたのは、「違う仕事を経験してみて、やはり直接人と関われる福祉の仕事が一番楽しいと感じたから」とのことで、福祉の現場に戻って充実した日々を過ごしています。

相手が何を望んでいるかをくみ取れるように

福祉の道に進んだきっかけは、「子供の頃から、母親が老人保健施設の看護師をしていたことで、身近に福祉を感じており、学びを深めていきたい」と思い、福祉の仕事をしようと決意しました。」とのこと。大学で勉強し、就職後に実際に現場で働

笑顔のお手伝いができるこの仕事を、 ずっと続けていきたい。



いてからの感想は、「実際に働いてみると、勉強したことや実習で学んだことはごく一部で、実務の経験を通して学ぶことが多いと実感しました。現場で一番悩んだことは、認知症や病気の後遺症で意思の疎通が図れない方とのコミュニケーションでした。意志表示がうまく出来ない方との関わりをどうすればいいのだろうと悩んでいました。」と新人時代のことを話してくれました。それをどうやって乗り越えたかという、コミュニケーションの方法は人それぞれあるので、身ぶり手ぶりなどジェスチャーを多く活用し、もっと深くご利用者様を知る事で、望みや希望やご要望をくみ取れるように努めていたそうです。

「ありがとう。」の言葉にやりがいを感じる

「ありがとう。」と言ってもらえることが嬉しいので、そう言ってもらえるように日々支援をしていると吉田さんは言います。「現在は新型コロナウイルスの影響で、ご利用者とご家族様の直接的な面会も中々できない状況です。そのような中で、ご利用者様の日常生活を伝え、ご家族様の不安や心配事が無くなり、「ありがとう」の一言を頂けると嬉しくなります。この「ありがとう」の感謝の一言が福祉の最大の魅力であり、やりがいに繋がっていきます。」と吉田さんは言います。

今後の目標は、資格を取得してスキルアップしていくこと。「介護福祉士の資格を今年取得したので、次は社会福祉士を目指し、ソーシャルワークの専門的知識をより深めていきたいです。資格取得後は、学んだ知識を活用し、経験を積んでいきたいです。また、実務経験が得られないと取得出来ない資格もある為、実務経験を積んだ後には、ケアマネジャーの資格を取得していきたい。」と意欲的です。

福祉の仕事の魅力、福祉の仕事に必要なこと

ご利用者様が笑顔になり、喜んでいるところや楽しんでいるところが間近に見られること、そこ

に自分に関わってお手伝いできることが、福祉の仕事の魅力なのだそうです。吉田さんにとって福祉の仕事は、「笑顔」のお手伝いをする仕事で、それがテーマとも言えます。

福祉の仕事にはどんな人が向いているのかをたずねると、「人と関わる仕事なので、コミュニケーション能力は大切だと思いますが、人を笑顔にし、幸せにしたいと思う人がこの仕事に向いていると思います。」という答えが返ってきました。



福祉の仕事を目指す人へメッセージ

福祉の仕事の先輩として伝えたいことは、「まずは、やってみることが大切だと思います。福祉の仕事と一言でいっても分野は広く、高齢領域、障がい領域、行政機関の相談窓口、保育士など、多岐にわたります。その中で自分に合うとか、楽しいから続けたいという仕事がきっとあると思うので、チャレンジして欲しいと思います。実務を積んでいくことで、知識が身に付きもっと、福祉の仕事に興味が出てきます。まずはチャレンジして行動に移すことが大切だと思います。」ということです。

座右の銘は「失敗は成功のもと」、「失敗することは怖いことですが、失敗することが成功への近道だと私は思います。失敗をすることで学びに繋がり、人は成長していけると思っています。失敗を恐れず、チャレンジし続けていくことが大切だと思います。」と言う吉田さん、福祉の仕事を目指す人にとって心強い「ふくし“きらい人。”」です。

